

2/28 Hirado City Photo News  
平戸検定最後の上級合格



平戸市役所で、平戸検定の上級合格者への認定証授与式が行われました。

平戸検定は、平戸の自然や歴史、文化などの知識を問題にするご当地検定で、初級・中級・上級に分かれて受検します。この日は、上級に合格した12人のうち5人に認定証を平戸市長から授与しました。

ボランティアガイドの育成などを目的に行った平戸検定は、10回目の今回で最後となりましたが、合格者のうち、これまでに20人以上がボランティアガイドの会員となりました。

2/25 Hirado City Photo News  
電力の地産地消を目指して



生月町島の館で、平戸市から(株)トラストバンクへの生月風力発電所の引渡式が行われました。

生月風力発電所は、旧生月町が国と共同で設置、その後譲渡を受け稼働しています。しかし、設備の老朽化などにより数年後に撤去予定でしたが、撤去費用の負担や地域の要望などがあったことから、(株)トラストバンクに譲渡し引き続き稼働していきます。

(株)トラストバンクでは、今後、この発電で得た電力エネルギー資金を地域内で循環させ、持続可能なまちづくりを目指していきます。

3/8~10 Hirado City Photo News  
花粉症患者が笑顔で快適に過ごせる島



的山大島で「第11回避粉地ツアー」が行われ、花粉症でお悩みの人たち18人が参加しました。

平戸本土からフェリーに乗船するまではマスクを着けていた参加者も、的山大島に上陸後はマスクいらずで、町並み散策するなど快適に過ごしました。

別府市から今回初めて参加した後藤謙治さんは「毎年この時期になると、鼻水や鼻詰まり、くしゃみなどで悩んでいたが、的山大島でじげもん料理や島内巡りして、心身ともにリフレッシュでき症状もすっかり改善されました」と話しました。



3/18 Hirado City Photo News  
今年はイカとタコが出現



生月漁協前の防波堤に、生月小学校を今春卒業の6年生15人が描いた巨大壁画がお目見えしました。

平成25年から漁業の担い手育成や郷土愛の醸成を目的として、生月小学校の6年生が卒業記念に防波堤に壁画を制作しています。今年は、地元で水揚げされるイカとタコを描きました。

卒業生の石屋達乃助さんは「自分が担当したイカとタコの頭や足は、細かいところがあって難しかったけど、みんなと協力して楽しく描くことができました」と話しました。

3/8 Hirado City Photo News  
一夜限りのライトアップ



田平町にある県指定天然記念物「海寺跡のハクモクレン」が1日限定でライトアップされました。

「海寺跡のハクモクレン」は、幹回りが2.2メートル、高さ15メートルで、1992年に日本植物保護推進会議が行った調査によると、ハクモクレンとしては日本最大の大きさであると報告されています。

この日は、午後7時から9時までハクモクレンや周辺の通路などがライトアップされ、訪れた人たちは暗闇に幻想的に浮かび上がるハクモクレンに、魅了されていました。

2/23・24 Hirado City Photo News  
平戸瀬戸市場誕生祭



平戸瀬戸市場で「平戸瀬戸市場7周年記念誕生祭」が開催されました。

直売所では、平戸で採れた新鮮な農水産物を買求めようと、市内外からの大勢のお客さんと混雑。屋外の会場でも3色カレーや炭火で食べる海鮮バーベキュー、農産物、あごだしうどん、干物などが販売され、多くの人が買い求めていました。また、子どもたちも楽しめる魚釣り体験やストラックアウト、キックターゲットもあり、たくさんの家族連れでにぎわいました。

2/23・24 Hirado City Photo News  
つばきの香りが春を告げる



未来創造館とたびら活性化施設を主会場に「平戸つばきフェア」が開催されました。

平戸と田平のつばき愛好家が、丹精込めて育てた多彩な椿や盆栽を展示したり、園芸相談、接木の仕方についての指導や呈茶などが行われました。

たびら活性化施設では、椿に因んだ絵画や写真のほか、インスタ映え絵画表彰式、茶道体験、つばき鉢物人気投票、移動図書館、飲食バザーや椿苗・花の販売など、「見る・食べる・買う・知る・遊ぶ」の5つの視点で椿を楽しみました。